

令和4年度原子力防災訓練等における前年度課題への対応状況

令和4年度訓練での前年度(令和3年度)課題への対応状況は、次のとおり。

	課題（令和3年度）	対応（令和4年度実績）
1	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる感染症対策の着実な実施を検討（広域避難訓練や緊急時モニタリング訓練） (原子力防災訓練) 	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">以下のとおり実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民避難・誘導訓練等における感染症対策について、参加機関等へ更に周知・徹底の上、参加者や実動機関の協力を得て、着実に実施
2	<ul style="list-style-type: none"> ・避難の実効性を高めるため、徒歩以外の要配慮者を搬送する訓練の実施を検討 (原子力防災訓練) 	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">以下のとおり実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八幡浜市及び西予市の福祉施設で、要配慮者（車椅子利用者）を福祉車両で搬送する陸路避難訓練を実施 ・八幡浜市で、要配慮者（傷病者）を担架等を用いてへりに搭乗させる手順を確認する空路避難訓練を実施
3	<ul style="list-style-type: none"> ・実際のドローン飛行映像による道路損壊箇所の識別は容易ではないと予想されるため、映像分析を行う要員の熟練度向上が必要 (原子力防災訓練) 	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">以下のとおり実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドローン運用訓練による要員の対応力強化のほか、ドローンで撮影した映像をAI解析し、避難経路等の状況や土砂災害等の発生位置を迅速に特定するシステム構築を実施 { R4: AI学習の実施(AI検出器への被災画像の記憶等) → R5: AI解析システムの導入 }
4	<ul style="list-style-type: none"> ・放射性物質放出後における緊急時モニタリング要員の安全確保に係る明確な指示が必要 (原子力防災訓練) 	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">以下のとおり実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ会議等で屋外活動時の全面マスク着用を指示するなど、緊急時モニタリング要員の安全確保に係る明確な指示を実施
5	<ul style="list-style-type: none"> ・画質向上や、通信回線の冗長性確保、飛行ルート自由化を図るため、LTEを活用したドローンの本格導入を検討 (ドローン運用訓練) 	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">以下のとおり実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無線通信ドローン配置拠点(5箇所)に、LTEを活用したドローンを新たに導入
6	<ul style="list-style-type: none"> ・県災害対策本部とオフサイトセンター機能班等が連携する訓練を実施し、要員の対応能力の更なる向上を検討 (オフサイトセンター運営訓練) 	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">以下のとおり実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より難易度の高い、ブラインド要素を取り入れた、シナリオ非開示の図上訓練により、要員（オフサイトセンター、県災害対策本部）の対応力強化を実施
7	<ul style="list-style-type: none"> ・県災害対策本部内における迅速な情報共有のため、原子力防災システム(NISS)の追加配備等の環境整備を検討 (災害対策本部運営訓練) 	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">以下のとおり実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子力防災システム(NISS)用のパソコンを、県災害対策本部オペレーションルームで活動する全ての班で使用できるよう追加配備し、情報共有体制の強化を実施